

# 哲學研究

第四十七卷 第九冊

第五百五十一號

昭和六十年三月二十日發行

## 彙報

沈黙の思考(完)……………	本
ヒュームにおける理性と情念……………	土
「有の問い」から「回思」へ……………	松
——ハイデガーに於ける 「思索」と「詩作」に関する一考察——	丸
言語・意味・対象……………	中
——「クラテュロス」における プラトンの言語哲学——	畑
〔回想〕留学当時の思出(完)……………	白
〔書評〕神野慧一郎著 『ヒューム研究』……………	田
	村
	井
	二
	均
	尚
	志
	雄
	夫
	治
	吉
	良

京 都 大 學 文 學 部 内

京 都 哲 學 會

# 京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
  - (一) 會誌「哲學研究」を發行する
  - (二) 毎年公開講演會を開く
  - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく  
委員は京都市大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會は賛助員若干名をおく　賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない　學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年三、六〇〇圓(會誌代を含む)を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都市大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

## 京都哲學會役員委員

池田秀三	伊藤邦三	上田閑一	梶山雄一	木曾好修	酒井平三	佐々木丞三	清水善三	清水御代	辻村公久	中西裕一郎	長谷正裕	服部正明	平野俊二	藤澤令誠	宝丸月壽	松丸克己	御牧克己	水垣治雄	本吉良	森口美都	山田耕平	岡本健二
------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------

# 會 告

## 京都哲學會公開講演會豫告

日 時 十一月三日(日)午後一時半  
會 場 京都大學文學部第七講義室

一、空……………京都大學教授 梶 山 雄 一

一、連想反應の連關構造……………京都大學助教授 清水 御 代 明

(順不同)

※右終了後樂友會館において懇談晚餐會(パーティー形式)を開きます。(會費約四千圓)

※所屬機關長宛出張許可依頼狀御入用の方は京都哲學會までお申出下さい。

※當分の間、本學會公開講演會は毎年十一月三日、京都大學文學部で開催いたします。

昭和六十年三月

京 都 哲 學 會

立たいところが無いわけではない。だが、終始一貫して自然主義者としてのヒューム像を描き出そうという著者の努力が成功していることは、疑いもないものである。

多様な論点を含む大部の著作の全容を、限られた紙幅で紹介することは不可能に近い。以上に取り上げたほかに、自我や信念についての議論をはじめとして重要な論点を含む章は多く、知覚論、因果論についても、以上に紹介したのは著者の議論のほんの一端であることは言うまでもない。触れることのできなかった論点については、本書をどうか直接お読みになるようにと、諸氏にお勧めするほかはない。ヒューム哲学に関心を持つすべての人々にとって、本書は間違いなく有益である。ヒューム研究における基本的文献として永く記憶せらるべき価値が、本書には明らかにそなわっている。

(J)

(筆者 たむら・ひとし 京都大学文学部「哲学」研修員)

前号(五五〇号)		正誤表	
頁	行	誤	正
一〇	九	Znspiel	Znspiel
一五	二	Entwurf	Entwurf
二八	一、一九	肯定	肯定
一〇四	十	すなわち	すなわち
"	一五	もっと	もっと
一三三	三	擬人化する場合	擬人化する場合
三八五	一八	Book I	Book IV
四〇六	一九	すなわち	すなわち
四一四	一四	分析上	分析上
五九七	上段三	どうでもいいと	どうでもいいこと
六〇一	下段二〇	何一つとり立て	何一つとり立てて
六〇六	上段八	「第二の人生」	「第二の人生」
六一一	下段二二	打たれざるをなか	打たれざるを得な
六二二	上段一四	き聴つつ	聴きつつ
"	上段二三	病没したした	病没した
六一四	下段一四	不断変じて	不断に変じて
六一五	下段八	論じて及ばざる	論じて及ばざる

## 前 号 目 次

## 第五百五十号記念特集号

## 最後の神

——ハイデッガーの思索に於ける——

辻村公一

“状況”の変化と“もの自身”の変化

藤澤令夫

——ブラトン『テアイテトス』(154B-155D)における

背丈比べのバラドクスの哲学的意味——

## アリストテレス『詩学』

における『ブラグマ』の意味について

山田 晶

一八〇一年夏のヘーゲル

酒井 修

——『イエーナ時代の論理学』研究(一)——

クマーリラの *vakya*rtha (文章の意味) 論——序——

服部正明

華夷観念の変容

日原利國

沈黙の思考

本吉良治

海馬の「空間地図説」対「時間処理説」の検討

平野俊二

美的価値の問題

吉岡健二郎

行為理論における「秩序」の問題

中 久郎

輪廻と超越

梶山雄一

——『城邑経』の縁起説とその解釈——

「ヨブ記」における問いの問題

水垣 渉

普遍についての試論

木曾好能

——ロック、バークリー、ヒュームの普遍論の批判的検討

中国古典における訓詁注釈の思想

池田秀三

ジャワの小学生の連想反応

清水御代明

——筆記反応の読みとりについての覚書——

江戸時代の外科書及び相書と人体表現の関係

佐々木丞平

——円山応挙の人物図研究序説——

「相互作用論」のモデル序説——その一——

宝月 誠

構想力と超越の問題

長谷正当

インド・チベット論理学に於ける「所証相似」

(sadhya<sup>sa</sup>na) の問題

御牧克己

第五百五十号記念特集号記事

田中美知太郎・長尾雅人・

澤瀉久敬・松山信一・高峰一愚

〔回想〕留学当時の思出

白井二尚

桑 報

## 次 号 論 文 豫 告

- 普遍概念としての多様体 ..... 沢 口 昭 聿
- 「相互作用論」のモデル序説（完） ..... 宝 月 誠
- その二——
- 事物の類似たるイデア ..... 長 倉 久 子
- ボナヴェントウラのイデア論における  
問題——
- デカルトにおける自然学の形而上学的 ..... 小 林 道 夫
- 基礎づけ
- 伝統的存在論との対比において——
- 〔学界展望〕西田哲学をめぐる ..... 大 橋 良 介
- 最近の論点——書評をかねて——

## 會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都二一四〇三九番京都哲學會）宛に規定の會費（年三、六〇〇圓、但し、會誌數冊分）をお拂込下さい。

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地創文社（振替口座東京二一九二四七二番）宛に願います  
一、會員の轉居・入退會の事務及び編輯事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

## 京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田  
京都大學文學部内

昭和六十年 三月十五日 印刷  
昭和六十年 三月二十日 發行

編輯兼  
發行人 京都大學文學部内  
編輯代表 京都哲學會  
編輯担当 伊藤邦武

賣捌所 株式會社 創文社

久保井理津男  
東京都千代田區一番町一七番地  
振替口座 東京二一九二四七二  
電話東京二六三二七〇（代差）  
印刷所 曉印刷株式會社  
東京都文京區関口一二四一八

## 註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい  
一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、送料六〇圓）前金にてお送り下さい

# THE JOURNAL OF PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

---

Vol. XLVII

March

1985

No. 9

---

## Articles

*Thinking without Language*..... Ryoji Motoyoshi

*Reason and Passion in Hume*..... Kunio Toki

*Von der „Seinsfrage“ zum „Andenken“*

—— *Eine Betrachtung über den Zusammenhang*

*von „Denken“ und „Dichten“ bei Martin Heidegger* ——

.....Hisao Matsumaru

*Word, Meaning and Object*

—— *Plato's Philosophy of Language in the Cratylus* ——

.....Masashi Nakahata

## Recollection

*From the Days of My Studies in Europe*

.....Jisho Usui

## Book Review

*Keiichiro Kamino: Studies in Hume's Philosophy*

.....Hitoshi Tamura

## Notes

Published by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

I S S N      0 3 8 6 — 9 5 6 3

雑誌コード 06427-3    特別定価 1,500圓